資料⑥

　2021.01.18

テレワーク実施率の調査結果（まとめ）

南大沢駅周辺を含む多摩ニュータウンでのコロナ発生後のテレワーク実施率の調査を実施した。調査結果は、まちづくり方針（素案）作成の参考とする。

・調査方法：オンラインアンケート調査

・調査対象：多摩境駅、南大沢駅、京王堀之内駅、多摩センター駅、唐木田駅、永山駅、若葉台駅周辺にお住まの方

・調査期間：2020年11月27日～12月1日（5日間）

・サンプル数：300サンプル

１．テレワークの実施率

・現在もテレワークを実施しているが41％で、以前実施していたが現在はしていないを含めると60％

　・民間調査会社が4月に行った調査では全国の平均28％で、東京都の平均49％

　・現在もテレワークを実施している41％は全国を上回り、東京都を若干下回った。以前実施していた

が現在はしていないを含めた60％は東京都を上回った

２．テレワークの実施日・主な実施場所

　・実施日は週1日～2日が全体の54％

　・主な実施場所は自宅が98％を占め、自宅以外では無料の民間スペース・会社の支所・ホテル

３．自宅最寄駅前のテレワーク施設

　・自宅最寄駅前にテレワーク施設がある場合に利用しないが65％で、利用するを上回るものの、35％が利用するという結果

４．今後のテレワークの実施

　・今後もテレワークを実施するが95％

　結果より、南大沢駅周辺を含む多摩ニュータウンでのテレワーク実施率は東京都の平均を若干下回っているが、回答者の大半が今後もテレワークを実施する考えであることを踏まえると実施率は減少しないと考える。

　また、主な実施場所は自宅が大半を占めていることは、現時点ではテレワーク拠点施設が不足していることが考えられ、３．の結果から等から今後最寄駅前などにサテライトオフィスなどの機能が商業施設などに導入されることで自宅以外での実施率が増加すると考える。